

R8新年度号
Vol.81

DAICHI

MIDORINET KUMAMOTO

Greeting

01

新年度のご挨拶 水土里ネット熊本 会長 竹崎 一成
第18期(令和5年4月～令和9年3月末日) 役員名簿
新年度のご挨拶 熊本県農林水産部 部長 深川 元樹
新年度のご挨拶 熊本県農林水産部 農村振興局 局長
野入 正憲

Action

03

第69回通常総会を開催
土地改良功績者、永年勤続者表彰の方々をご紹介
熊本県知事・熊本県議会議長への表敬訪問
全国水土里ネット表彰式への参加

Information

06

技術向上への取り組み
熊本県からの情報提供 令和8年度熊本県予算について
令和8年度 熊本県農林水産部の新体制
令和8年度 熊本県土地改良事業団体連合会
新規採用職員のご紹介
令和8年度 熊本県土地改良事業団体連合会 職員配置表
非補助農業基盤整備資金のご案内 ほか

令和7年度農業農村整備優良地区コンクール
(中山間地域等振興部門) 農林水産大臣賞
天草市 豆木場地区

新年度のご挨拶

会長 竹崎 一成

水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)



熊本県土地改良事業団体連合会
会長 竹崎一成

初夏の候、会員並びに関係者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より農業農村整備事業の推進並びに本会の運営に格別のご理解とご協力、多大なるご尽力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の農業・農村は、今まさに歴史的転換期にあります。人口減少や生産資材価格の高騰に加え、近年の激甚化する自然災害の発生は、食料の安定供給に大きな影響を及ぼしています。特に、昨年県内に甚大な被害をもたらした「令和7年8月豪雨災害」は、国土強靱化の着実な推進が喫緊の課題であることを改めて再確認することとなりました。ここに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、本会といたしましては、一日も早い復旧・復興に向け、常に現場に寄り添った支援に全力を注いでまいる所存です。

こうした情勢を受け、昨年4月1日の「改正土地改良法」施行を皮切りに、「食料・農業・農村基本計画」、さらには「第一次国土強靱化実施中期計画」や9月の「土地改良長期計画」の策定など、農業・農村の未来を左右する極めて重要な制度的枠組みが相次いで整えられました。本年度は、これらすべての計画が揃い、現

場で具体的に始動する「実行元年」となります。特に、本年度予算において初動5カ年の「農業構造転換集中対策」として、別枠で予算が創設されたことは、現場の切実な声を反映した画期的な成果です。本会といたしましても、この施策を最大限に活用し、農地の大区画化や中山間地域のきめ細やかな整備、スマート農業の導入、農業水利施設の長寿命化を加速させるとともに、「田んぼダム」による流域治水の拡大やICTを活用した維持管理の省力化を推進してまいります。

私たちは、先人が心血を注いで築き上げ、今日まで守り抜いてきたこの豊かな大地と水、そして農業用施設を、健全な形で次世代へと引き継いでいく責務を担っています。わが国の食料自給率が低迷する中で、命の根幹たる農業が軽視されることがあてはなりません。不透明な情勢が続く今こそ、「闘う土地改良」の旗印の下、会員の皆様と一致団結し、熊本の農業・農村の輝かしい未来を切り拓くために行動してまいります。

本会におきましても、本年度より新体制が始動いたしました。去る2月の通常総会におきまして理事に選任されました、前熊本県農林水産部農村振興局長の永田稔氏（4月6日常務理事就任）、美里町長の上田泰弘氏、玉名市長の蔵原隆浩氏と共に、多様な視点を取り入れながら、より実効性の高い組織運営に努めてまいります。

結びに、本県農業・農村の将来を切り拓くため、役職員一同たゆまぬ努力を重ねてまいります。皆様には、今後とも本会の活動に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年度のご挨拶といたします。

第18期(令和5年4月～令和9年3月) 役員名簿

(令和8年5月現在)

会長	竹崎 一成 (芦北町長)
副会長	坂田 孝志 (八代平野北部土地改良区理事長)
(新)常務理事	永田 稔 (学識経験者)
理事	津田 正昭 (熊本市西南土地改良区理事長)
(新)理事	上田 泰弘 (美里町長)
理事	西村 博則 (益城町長)
理事	金田 英樹 (大津町長)
理事	古庄 廣美 (泗水町土地改良区理事長)
(新)理事	藏原 隆浩 (玉名市長)
理事	早田 順一 (山鹿市長)
理事	本田 二男 (阿蘇土地改良区理事長)
理事	藤本 一臣 (氷川町長)
理事	森本 完一 (錦町長)
理事	馬場 昭治 (天草市長)
理事	酒瀬川 美鈴 (学識経験者)
総括監事	岡村 文明 (百太郎溝土地改良区理事長)
監事	宮原 雄一 (熊本平野南部土地改良区理事長)
監事	草村 大成 (高森町長)

新年度 ご挨拶

熊本県農林水産部 部長 深川 元樹



熊本県農林水産部
部長 深川元樹

水土里ネット熊本の会員の皆様におかれましては、日頃より本県の農業・農村施策の推進に際し、格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本県の農業は、全国有数の食料供給地域としての地位を維持し、農業者をはじめ関係する皆様の不断の努力により高い農業産出額と生産農業所得を確保しております。

しかしながら、人口減少と高齢化による担い手不足や集落機能の低下、農業水利施設の老朽化、気候変動に伴う災害の頻発化等、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。

このような状況の中、県では、「くまもと新時代共創基本方針」のもと、「食のみやこ熊本県」の創造に向け、稼げる農林畜水産業の実現に向け取り組んでいます。具体的には、昨年度に「熊本県食料・農業・農村基本計画」を策定し、親元就農をはじめとする担い手対策の強化に加え、生

産性向上や高付加価値化、並びに激甚化・頻発化する自然災害、世界情勢の変化に伴う生産資材等の価格高騰等の外的リスクへの対応等の取組みを進め、農畜産業の更なる発展を目指しているところです。

また、国においては、昨年度に「食料・農業・農村基本計画」が改定され、食料安全保障の強化を最重要課題として、農地の集積・集約化、大区画化、スマート農業の推進、環境負荷低減型農業への転換が示されました。

県としても、国の方針を踏まえながら、生産者をはじめ県民総参加で、くまもとの食、農業、農村の維持発展に努めて参ります。最後になりますが、先人たちの知恵と努力によって築かれた土地改良施設は、地域の営農と暮らしを支えながら脈々と受け継がれてきたものであり、地域農業の発展を支えてきた歴史そのものであります。

この貴重な財産を次の世代へ確実に引き継ぐためにも、皆様とともに、農業生産基盤の強化、適切な保全管理の推進、農業・農村の強靱化にしっかりと取り組んで参ります。

引き続き、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年度 ご挨拶

熊本県農林水産部 農村振興局 局長 野入 正憲



熊本県農林水産部
農村振興局 局長 野入正憲

水土里ネット熊本の会員の皆様におかれましては、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

農村振興局では、「くまもと新時代」を切り拓く「食のみやこ熊本県」の創造「現場主義」と「凡事徹底」による着実な農業農村振興をスローガンに掲げ、「強固な生産基盤の整備と保全管理」「農村地域の国土強靱化」「持続可能な農村づくり」「大規模災害からの復旧・復興」の4本柱のもと、各施策を着実に進めて参ります。

特に今年度は、大規模災害からの復旧・復興が喫緊の課題です。令和7年8月豪雨の農地・農業用施設の被害額は605億円にのぼり、平成28年熊本地震に次ぐ甚大な被害が発生しました。また、上田市等では排水機場が浸水により稼働停止する等、農業水利施設の脆弱性が改めて浮き彫りとなりました。引き続き、迅速な復旧・復興に向け、関係機関と連携しながら全力で取り組んで参ります。

国の食料・農業・農村基本計画に基づき、令和7年度から11年度までの「構造転換集中対策」が始動してお

り、本県としても生産性向上に不可欠な「農地の区画拡大」を重点的に推進するとともに、地域計画と連動し、スマート農業への対応や維持管理の省力化に資する整備、中山間地でのきめ細かな整備等、地域の実情に応じた基盤整備を加速していきます。

一方、排水機場168箇所のうち5割超が設置後30年を超え、防災重点農業用ため池についても防災対策工事の必要性を判断するための地震・豪雨耐性評価を行う等、老朽化対策は待たなしの状況です。

水土里ネット熊本におかれましては、一昨年度に設置された「保全管理総合センター」を中心に、施設の適切な維持管理や機能診断の推進に御尽力頂いており、その先駆的な取組みに深く敬意を表します。

このような中、県においても、昨年度から「水土里ビジョン」の策定に向けた支援を進めており、各地域における将来の保全管理の方向性を明確化し、地域が主体となった持続的な体制づくりが構築できるよう、後押ししていきます。

結び、皆様の日常の維持管理こそが、本県農業を支える基盤であり、食料安全保障の根幹を成すものです。活力ある農村を次世代へ引き継ぐため、今後も皆様と緊密に連携し、総力を結集して農業農村整備の推進に取り組んで参りますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

第69回通常総会を開催

上段左から

①坂田副会長
開会の辞②竹崎会長
挨拶③九州農政局
小野寺局次長 祝辞④木村県知事 祝辞
代読：永田局長⑤熊本県議会高野議長
祝辞⑥議長
幸野満土地改良区
富田理事長⑦監査報告
百太郎満
土地改良区
岡村理事長⑧玉名市蔵原市長
新理事挨拶⑨決議文
熊本平野南部
土地改良区
橘様⑩藤本理事
閉会の辞

令和8年2月27日（金）に熊本ホテルキャッスルで「熊本県土地改良事業団体連合会 第69回通常総会」を開催しました。

総会は、坂田孝志副会長（八代平野北部土地改良区理事長）の開会の辞に始まり、主催者を代表し竹崎一成会長（芦北町長）から、県下の農業農村整備事業の推進と積極的な取り組みへの謝辞及び敬意を表されました。

続いて、農業農村整備事業の発展に貢献された土地改良功績者及び土地改良への永年にわたるご功績を称え永年勤続者を表彰の後、緒方和之九州農政局長の代理として小野寺慎司九州農政局次長、木村敬県知事の代理として永田稔農村振興局長、高野洋介熊本県議会議長にご臨席頂き、ご祝辞を賜りました。



会場の様子▲



その後、提案しました議案審議のため、幸野満土地改良区理事長の富田道孝様を議長に選任し議案の審議を行い、全議案とも賛成多数で原案通り可決、承認されました。

その中で、蔵原隆浩様（玉名市長）、上田泰弘様（美里町長・美里町土地改良区理事長）、永田稔様（熊本県農村振興局長）が新理事として承認されました。

また、要請・要望活動に活用する決議文（案）につきましては、永年勤続15年の受賞者で熊本平野南部土地改良区の橘絵馬様から読み上げて頂き、満場一致でご承認を頂きました。最後に、藤本一臣理事（氷川町長）の閉会の辞で総会は滞りなく終了しました。

永年土地改良功績者、
功績者の方々をご紹介します

第69回通常総会において、土地改良功績者及び永年勤続者表彰が行われました。

誠にありがとうございます



受賞者と共に記念撮影 ▲

土地改良功績者（2名）

熊本市西南土地改良区 理事長 津田 正昭 様
久木野村土地改良区 理事長 光永 政敏 様

永年勤続者（10名）

永年勤続40年

船田 哲治 様
（氷川土地改良区、氷川下流土地改良区連合）

永年勤続30年

田中 栄二 様（八代平野北部土地改良区）

永年勤続25年

竹中 宏豊 様（秋津飯野土地改良区）
市田 秀樹 様（百太郎満土地改良区）
上村 好生 様（川辺川総合土地改良区）

永年勤続20年

深田大一郎 様（八代平野北部土地改良区）

永年勤続15年

橘 絵馬 様（熊本平野南部土地改良区）
下田 桂士 様（玉名平野土地改良区）
東家 寛弘 様（八代平野北部土地改良区）
上野 慎伍 様（八代平野土地改良区連合）

令和8年2月4日（水）に水土里ネット熊本（坂田副会長、元松副会長はじめ役員14名）及び、くまもと水土里ネット女性の会役員3名は、木村熊本県知事、高野熊本県議会議員に表敬訪問を行いました。

水土里ネット熊本
木村熊本県知事を表敬

TOP MESSAGE

祖先から受け継いだ尊い農地を、子々孫々へつなぐ使命

木村知事は、本会が発災直後からチームを組み、自治体へ職員を派遣した支援活動に敬意を表しました。「農業水利施設の復旧を、単なる復旧ではなく『創造的復興』の中核に据えたい」と述べ、改正された食料・農業・農村基本法に基づき、保全と整備を両立させる考えを示しました。また、「尊（とうとぶ）」という一文字を挙げ、「脈々と受け継がれてきた農地を次世代にバトンタッチすることが我々の使命。稼げる農業と、瑞穂の国の生業を守るため、全庁的に支えていく」と力強く応じました。

TOP MESSAGE

迅速な災害復旧支援に心からの謝意

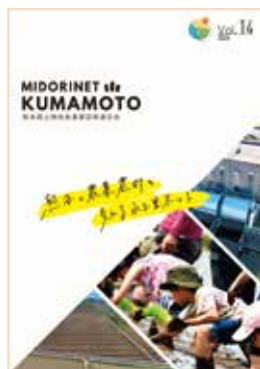
一行を代表し、坂田副会長は昨年8月の豪雨災害における知事の迅速な対応に深く感謝を述べました。「知事自ら被災地を視察し、八代平野のトマト農家への機械補助や、い草農家への手厚い予算措置を講じていただいた。被災農家にとって大きな励みとなっている」と発言。また、県の農業農村整備予算が国の伸び率を大きく上回る154%を確保できたことを高く評価し、引き続きの指導と支援を求めました。



坂田副会長（左）から木村知事（右）へ活動報告書を手交



木村知事と共に記念撮影▲



水土里ネット熊本
パンフレットVOL.14



水土里ネット
ポスターVOL.14

令和7年度の水土里ネット熊本の取組みを掲載した「水土里ネット熊本のパンフレット」と県下水土里ネットを幅広くPRするための「水土里ネットのポスター」はこちらからダウンロードできます。



TOP MESSAGE

土地改良は生産者を支える「動脈」

高野県議会議員は、農林水産委員長時代の経験に触れ、「土地改良事業は生産者を支える『動脈』であり、ここがしっかりしなければ良い営農はできない」と強調。昨年の豪雨災害からの早期復旧における本会の貢献に感謝の意を示しました。また、「老朽化施設の改修など課題は山積している。予算の確保を含め、生産者が安心して営農できるよう、皆様と一丸となって国・県へ働きかけていきたい」と述べ、農業基盤整備の重要性を再確認しました。

TOP MESSAGE

迅速な災害対応と予算確保に感謝

一行を代表し、坂田副会長は日頃の農業・農村振興への尽力に対し謝意を述べました。「昨年大雨被害に際し、高野議長をはじめ県議会の皆様迅速な対応と十分な予算措置を講じてくださったことに心から感謝申し上げます」と発言。また、令和7年度の補正予算において、国の伸び率を大きく上回る県独自の予算を確保できたことを高く評価し、「今後も防災・減災対策、国土強靱化に向けて精一杯努めてまいります」と、引き続きの指導と支援を求めました。



坂田副会長（左）元松副会長（右）から
高野議長（中央）へ活動報告書を手交

水土里ネット熊本
高野県議会議員を表敬

CONGRATULATIONS

全国水土里ネット表彰式への参加

令和8年3月25日（水）に東京都千代田区シェーンバッハ・サバーにおいて、全国水土里ネット主催による全国水土里ネット表彰式が開催され、「第67回全国土地改良功労者等表彰」並びに「農業農村整備優良地区コンクール表彰」が行われました。熊本県からは以下の方々が受賞されました。

農業農村整備事業優良地区コンクール （中山間地域等振興部門）

－農林水産省農林水産大臣賞－

「農事組合法人宮地岳営農組合」
代表理事 田中 大地様

誠にありがとうございます

第67回土地改良功労者等表彰

－全土連会長賞（団体）－

「馬場楠堰土地改良区」
理事長 藤本 照義様

－全土連会長賞（個人）－

「甲佐町土地改良区」
理事長 遠山 敬光様

「玉名平野土地改良区」
事務局長 吉川 昭二様

「氷川土地改良区・氷川下流土地改良区連合」
事務局長 船田 哲治様

「熊本県土地改良事業団体連合会」
常務理事 久保田 修様
事務局長 河地 芳郎様



全国水土里ネット二階会長挨拶 ▲



会場の様子 ▲



「農事組合法人宮地岳営農組合」
代表理事 田中 大地様



「馬場楠堰土地改良区」
理事長 藤本 照義様



「甲佐町土地改良区」
理事長 遠山 敬光様



「玉名平野土地改良区」
事務局長 吉川 昭二様



「氷川土地改良区・氷川下流土地改良区連合」
事務局長 船田 哲治様

March, 25th 2026



技術向上への取り組み

Pick up!

令和8年度資格取得状況

本会では、下記の一覧表に記載されている資格を取得し、技術力の向上に努めています。
令和7年度に実施された資格試験等において、本会からは下記の職員が合格しました。

農業用ため池保全管理技士

総務企画課	尾下 拳輔
施設管理課	宮本 翔馬
施設管理課	澤田 隼人
換地課	上橋 崇宏
換地課	長谷野勝也
換地課	中村 行伸

農業土木技術管理士

城北総合支所	中尾 亮太
天草支所	東 陽平

測量士

換地課	西山 政記
-----	-------

測量士補

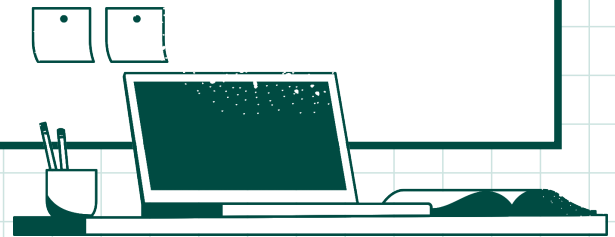
城北総合支所	小山 真太郎
--------	--------

第二種電気工事士

施設管理課	高松 英樹
-------	-------

会計指導員

財務経理課	森 渉
財務経理課	松永 直子
財務経理課	渋谷 有美



Pick up!

本会の資格取得一覧

(令和8年4月現在)

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
技術士	2	浄化槽技術管理者	6	上級集落排水計画設計士	1	土地改良専門技術者	1
技術士補	12	浄化槽管理士	6	集落排水計画設計士	4	農業農村地理情報システム技士	5
1級建築士	1	浄化槽設備士	3	地籍主任調査員	2	第1種衛生管理者免許	2
農業土木技術管理士	32	2種下水道検定者	1	ITパスポート	1	第2種衛生管理者免許	1
1級土木施工管理技士	15	酸素欠乏等危険作業主任者	1	移動式クレーン運転免許	3	ビジネス実務法務検定3級	1
2級土木施工管理技士	9	第四種公害防止管理者	1	農業水利施設総合診断士	2	全商簿記1級	2
測量士	12	第一種電気工事士	1	農業災害復旧専門技術者	13	日商簿記2級	1
測量士補	46	第二種電気工事士	4	2級小型船舶操縦士	2	日商簿記3級	5
土地改良換地士	11	一級電気工事施工管理技士	1	VEリーダー	1	全経簿記上級	1
農業用ため池保全管理技士	48	監理技術者資格者証(電気)	1	乙種4類危険物取扱者	16	ドローン検定1級	1
ダム管理主任技術者	2	自家用発電設備専門技術者資格証	1	ポンプ施設管理技術者1級	1	ドローン検定2級	1
2級管工事施工管理技士	1	特殊電気工事資格者認定証	1	ポンプ施設管理技術者2級	5	ドローン検定3級	2
畑地かんがい技士	5	会計指導員	8	ボイラー技士	2	無人航空機技能認定	2

令和8年度 農業農村整備事業関係予算の配分状況について

国の農業農村整備事業予算については、令和7年度補正と令和8年度当初を合わせ、昨年度比（R6補正+R7当初）107%の6,942億円となりました。

一方、本県への割当は、令和7年度補正と令和8年度当初を合わせ、昨年度比115%の113.8億円（事業費ベースで205億円）が措置される見込みです。

農業農村整備事業関係予算配分状況（国費ベース）

単位：億円

国全体

	R7	R8	差
補正予算	2,037	2,439	+402 (120%)
当初予算	4,464	4,504	+40 (101%)
合計	6,500	6,942	+442 (107%)

熊本県

単位：億円

	R7	R8	差
補正予算	35.0	53.8	+18.8 (154%)
当初予算	64.0	60.0	-4.0 (94%)
合計	99.0	113.8	+14.8 (115%)

なお令和8年度は、『くまもと新時代を切り拓く「食のみやこ熊本県」の創造 ～「現場主義」と「凡事徹底」による着実な農業農村振興～』をスローガンに掲げ、農業農村整備事業を展開していきます。

令和8年度熊本県農村振興局スローガン

くまもと新時代を切り拓く「食のみやこ熊本県」の創造

～「現場主義」と「凡事徹底」による着実な農業農村振興～

強固な生産基盤の整備と保全管理

- 地域計画と連動し、丘陵地や中山間地域のさらなる整備、農業DXによる生産効率化等、農業振興施策に合わせた生産基盤の整備
- 土地改良区の体制強化、水と土壌の保全推進

農村地域の国土強靱化

- 老朽化した農業水利施設の計画的な更新整備・長寿命化対策の推進
- 防災・減災対策としての地質評価と対策工事の推進
- 中山間地域の管内全域への普及・拡大

持続可能な農村づくり

- 農村型産業振興：農村4Kの形成等を促進
- 日本型農業文化に寄り添った地域の活性化や農家の夢の実現
- ICT技術の活用や地域活動による高齢者対策の推進

大規模災害からの復興・復興

- 熊本県の復興・復興（復興10年）
- 農村振興局としての役割を担い、より一層の復興強化を図る
- 被災を契機とした熊本県のハード、ソフト対策の充実強化

凡事徹底

- なんでも思いやり部のことばを徹底的に持つ
- 報連相、朝礼はチーム（組織）で対応

現場主義

- 農村地域のデザイナーとして地域に寄り添う
- 現場の課題に対し、常に最善解を考案解決に導く

農村振興局職員としての自覚と誇りを持って

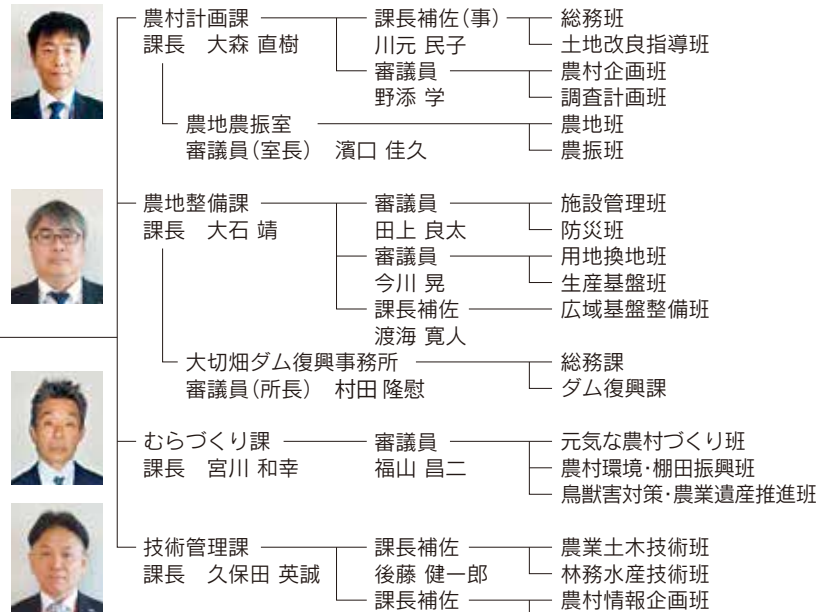
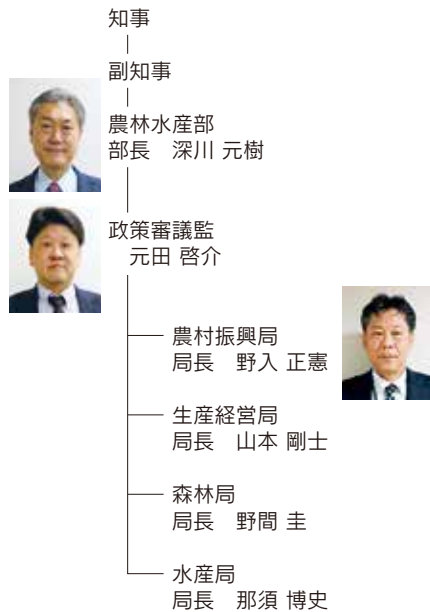
- 農村振興局職員の自覚と誇りを持って
- 常に最善解であることの自覚を持つ
- ワークライフバランスの充実
- 健康第一
- プライベートも大事に（レジャータイト）

明るく・楽しく・前向きな
農村振興局に向けて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和8年度 熊本県農林水産部の新体制



●農林水産部

所属名	職 名	氏 名
農林水産部	部長	深川 元樹
農林水産部	政策審議監	元田 啓介
生産経営局	局長	山本 剛士
農林振興局	局長	野入 正憲
森林局	局長	野間 圭
水産局	局長	那須 博史

【農村振興局】

所属名	職 名	氏 名
農村計画課	首席審議員(課長)	大森 直樹
	審議員	野添 学
	課長補佐	川元 民子
	主幹(総務担当)	中山 志保
	課長補佐(土地改良指導担当)	谷下 誠一
	課長補佐(農村企画担当)	松田 正樹
	主幹(調査計画担当)	池部 亘一郎
	室長	濱口 佳久
	課長補佐(農振担当)	野田 明日美
	課長補佐(農地担当)	松本 泰明
農地整備課	課長	大石 靖
	審議員	田上 良太
	審議員	今川 晃
	課長補佐	川元 民子
	課長補佐	渡海 寛人
	審議員(大切畑ダム復興事務所所長)	村田 隆慰
	課長補佐(大切畑ダム復興事務所 課長)	福富 慎一
	課長補佐(用地換地担当)	松原 忠信
	主幹(施設管理担当)	村崎 剛
	主幹(防災担当)	大村 啓介
むらづくり課	主幹(生産基盤担当)	徳永 智子
	主幹(広域基盤整備担当)	田上 啓司
	課長	宮川 和幸
	審議員	福山 昌二
	課長補佐	川元 民子
	主幹(元気な農村づくり担当)	沼野 祥予
	主幹(農村環境・棚田振興担当)	沼田 隆二
	主幹(鳥獣害対策・農業遺産推進担当)	大坂 祐里佳
	課長	久保田 英誠
	課長補佐	川元 民子
技術管理課	課長補佐	後藤 健一郎
	課長補佐	中村 慶広
	主幹(農業土木技術担当)	宮部 志郎
	主幹(地籍調査担当)	秋吉 竜也
	課長補佐(農村情報企画担当)	磯本 佐知子
	主幹(林務水産技術担当)	阿蘇 品貴博

●広域本部・地域振興局

所属名	職 名	氏 名
県央広域本部	広域本部長	増田 要一
	副部長(宇城地域振興局長)	永野 茂
	副部長(上益城地域振興局長)	松田 龍明
	首席審議員(農林部長)	岩田 長起
	農林部副部長	佐藤 雅代
	農業普及・振興課長	福永 博文
	農地整備課長	野尻 重延
	農地整備課課長補佐	松田 耕司
	局長	永野 茂
	局次長	浦津 栄一
宇城地域振興局	農林部長	安武 智臣
	農林部副部長	樋口 匡
	農業普及・振興課長	藤本 新
	農地整備課長	倉岡 孝幸
上益城地域振興局	局長	松田 龍明
	局次長	猪原 英次
	農林部長	松下 浩一
	農林部副部長	河野 陽一郎
	農業普及・振興課長	香口 真一
	農地整備課長	野島 孝樹
県北広域本部	広域本部長	鎌本 亮太
	副部長(玉名地域振興局長)	安田 昌史
	副部長(鹿本地域振興局長)	時田 一弘
	副部長(阿蘇地域振興局長)	木原 徹
	農林水産部長	水上 勇一
	農林水産部副部長	古閑 瑞樹
	農業普及・振興課長	堀口 太久
	農地整備課長	甲斐 聡史
	農地整備課課長補佐	園田 秀和
	局長	安田 昌史
玉名地域振興局	局次長	増馬 武憲
	農林部長	長生 朋子
	農林部副部長	吉田 徹也
	農業普及・振興課長	田尻 一裕
	農地整備課長	園田 高史
鹿本地域振興局	局長	時田 一弘
	局次長	工藤 香奈
	農林部長	渡邊 充
	農林部副部長	都富 真一
	農業普及・振興課長	木場 達美
	農地整備課長(兼務)	甲斐 聡史

所属名	職 名	氏 名
阿蘇地域振興局	局長	木原 徹
	局次長	桑原 暢子
	農林部長	橋本 修一
	農林部副部長	犬塚 統
	農業普及・振興課長	北 伸祐
	農地整備課長	園村 道明
県南広域本部	広域本部長	津川 知博
	副部長(芦北地域振興局長)	馬場 幸一
	副部長(球磨地域振興局長)	中川 太介
	農林水産部長	作田 一
	農林水産部副部長	吉田 一浩
	農業普及・振興課長	江島 暢喜
	農地整備課長	山形 慎也
	農地整備課課長補佐	市村 隆尋
	局長	馬場 幸一
	局次長	服部 信一郎
芦北地域振興局	農林部長	清田 雄一
	農林部副部長	福島 章夫
	農業普及・振興課長	平野 智徳
	農地整備課長	岩村 豊作
球磨地域振興局	局長	中川 太介
	局次長	畑中 利徳
	農林部長	本村 松吾
	農林部副部長	藤山 英貴
	農業普及・振興課長	竹盛 稔
	農地整備課長	松本 俊秀
天草広域本部	広域本部長	浦田 美紀
	農林水産部長	鮫島 守
	農林水産部副部長	宮崎 和年
	農業普及・振興課長	古島 豊喜
	農地整備課長	江島 延隆

令和8年度 熊本県土地改良事業団体連合会 新規採用職員のご紹介



令和8年度
幹部職員及び新規採用職員
辞令交付式

(前列右から)
宮崎補佐「新規採用職員」
飯島センター所長
宰川技師「新規採用職員」
吉岡総務部長
荒木技師「新規採用職員」
久保事業部長
松永主任「新規採用職員」

本年度の新規採用職員を紹介します。どうぞよろしくお願いします！



Name あら き ゆい 荒木 結
Section 施設管理課 集落排水係
Education 龍谷大学
政策学部 政策学科

大学では憲法学のゼミに所属し、判例を読んだり裁判所に行ったりしました。また、大学では将棋部に所属していましたが、駒の動きがわかる程度の初心者なので、教えていただけたら嬉しいです。大学は関西ですが高校までは熊本で生活していたので、少しは熊本のことはわかると思います。農業土木についてはわからないことばかりですが、一つ一つの仕事を大切に、日々、成長できるように努めてまいります。ご指導のほど、よろしくお願いします。



Name さいかわ まさと 宰川 理斗
Section 城南総合支所 宇城分室
Education 天草工業高等学校
土木科

高校在学中は、測量や土木施工、土木基盤力学など土木についての基礎的な知識を学びました。また、3年間ソフトボール部に所属しておりました。本会でも部活動で培われた忍耐力と継続力を生かしていきたいと考えています。農業土木に関しては、まだ分からないことも多くあり不安もありますが一日でも早く皆様に信頼していただけるよう精進してまいります。また、一つ一つの経験を大事にしながら日々着実に成長できるよう努めてまいります。



Name まつな が なお こ 松永 直子
Section 財務経理課 経理係

今年度より職員として勤務させて頂くことになりました。初めて派遣として連合会に勤務した際に経理業務に携わったことが、現在の職務への関心を深めるきっかけとなりました。以来、日々学びを重ねながら経験を積み、現在に至っております。これまでのご指導に感謝し、今後もより一層成長できるよう努めて参ります。さらに、責任感をもって業務に取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

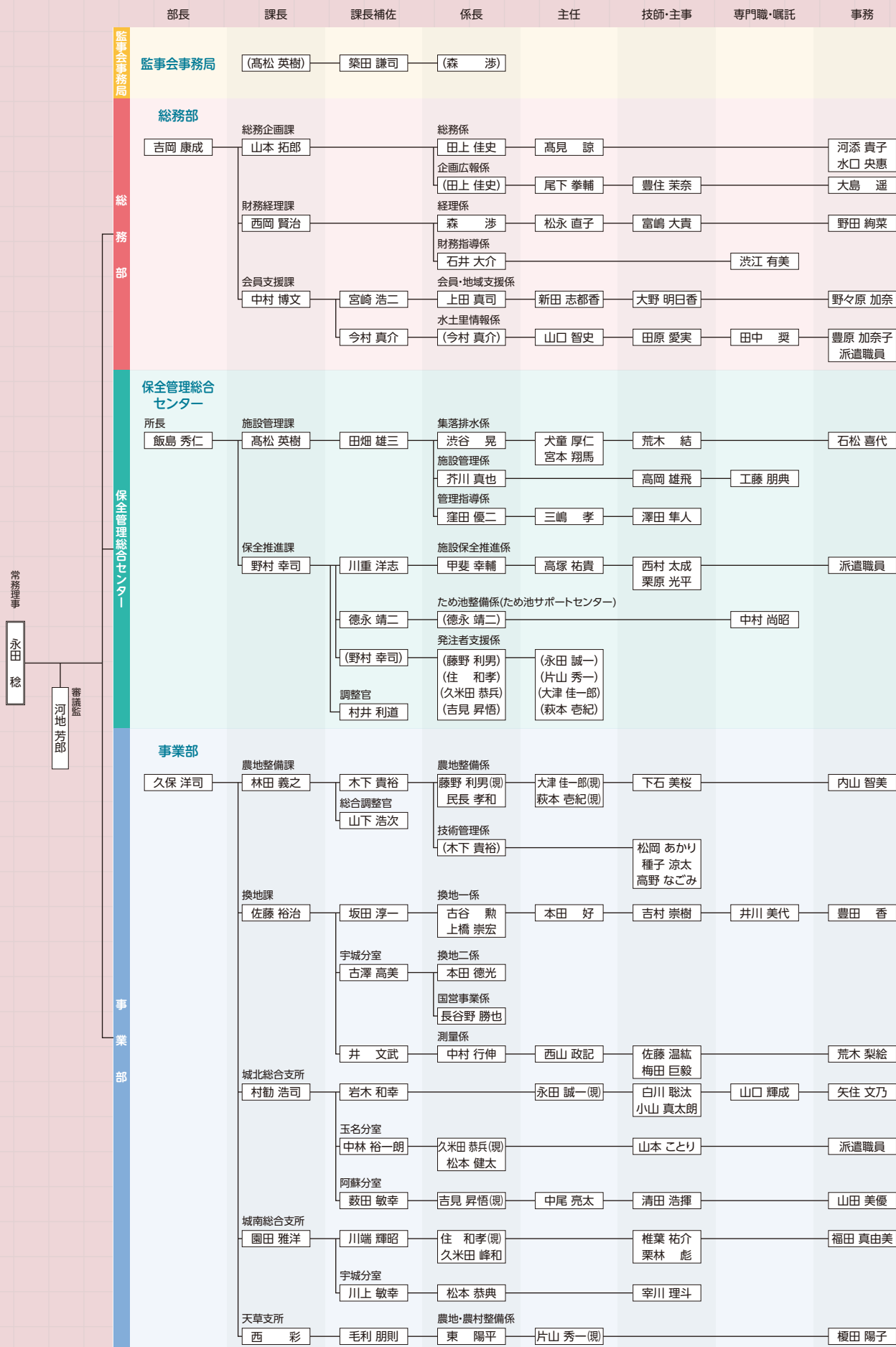


Name みやざき こうじ 宮崎 浩二
Section 会員支援課

民間企業退職後、役所勤め31年中通算19年農政関連に従事し、本会関係では、20代（圃場整備・災害・集排等）、30代（適正化・排水機場）、40代（ため池HM等）を経験。とは言え事務職且つプランクもあり、ハード系は正直厳しいですが、配属先の会員支援課関係では、役所（県市）で多面・中山間直払を通算14年、地元組織でも長年書記を経験。この経験が皆様の一助となれば幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。（B'z推しの54歳・山鹿市出身）

令和8年度 熊本県土地改良事業団体連合会 職員配置表

(令和8年6月現在)



ご案内

非補助農業基盤整備資金のご案内

非補助農業基盤整備資金とは？

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業を実施して農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金です。

また、農業集落排水施設の整備など生産基盤と一体として行う生活基盤の改善に必要な資金および土地改良区等が行う運営合理化のための事務OA化システム整備などの資金も対象となります。

なお、県又は市町村が単独で行う補助事業についても、融資の対象となります。

融資条件

- 利 率：非補助融資 2.80%（令和8年5月現在）
 - 償 還 期 間：25年以内（うち据置期間10年以内）
 - 融資限度額：最高限度額 当該年度に借入者が負担する額
最低限度額 融資1件につき50万円（災害復旧事業の場合10万円）
 - 借 入 者：土地改良区、土地改良区連合（事業主体となる場合に限る）、
農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方
- ※最新の金利は、最寄りの日本政策金融公庫にご確認ください。



日本政策金融公庫
熊本支店



096-353-3104
（農林水産事業直通）

土地改良法律相談のご案内

近年、土地改良事業及び土地改良区を取り巻く環境は、施設の多様性や農村地域の都市化、混住化により諸問題等が複雑化・高度化しております。このような社会背景を基に、本会では土地改良事業相談等事業による法律に関する相談業務について、顧問弁護士に委嘱し会員の皆様の問題解決に努めております。

毎月1日を定期相談日と定め、（急を要する事案については随時）対応しておりますので、問題等ございましたら気軽にご相談ください。

また、本会HPにて、これまで土地改良相談等事業で扱った相談内容の一部を掲載しています。



会員支援課
会員・地域支援係



096-348-8802
（直通）



shinji.ueda
@higosanae.or.jp
上田

土地改良区の「指導監査」のご案内

複式簿記の義務化に伴い、これまで複式簿記の巡回指導を実施していましたが、令和7年度からは、財務諸表等を活用した経営の診断を実施し、運営の効率化や円滑な施設更新のための指導や助言を行っています。

また、本会職員（会計指導員）が電話やメールにより、会計経理全般のご相談にお答えいたします。

土地改良区等においては、原則、員外監事の選任が必要ですが、公認会計士や税理士から契約に基づく会計の指導を受ける、または、「土地改良連合会と契約に基づく指導監査」を受ける場合は、員外監事の選任が不要です。

本会は、令和6年度からサポートチームを強化して「指導監査業務」を始めましたので、ご要望の際は、お気軽にご相談ください。



財務経理課
財務指導係



096-348-8808
（直通）



daisuke.ishii
@higosanae.or.jp
石井

詳しくは本会HPから
ご覧ください



<https://www.higosanae.or.jp/>



水士里ネット熊本
熊本県土地改良事業団協議会
水士里ネット熊本
water@higosanae.or.jp



第48回全国土地改良大会奈良大会のお知らせ

令和8年11月17日（火）、第48回全国土地改良大会奈良大会（全国土地改良事業団体連合会、奈良県土地改良事業団体連合会主催）が、「奈良県コンベンションセンター」を会場に開催されます。